

## ○取組の概要

- 平成11年度から4家族による大規模経営で米・野菜・山菜等を特別栽培して通年販売化に取り組む
- 平成20年度から雪室貯蔵で米・野菜の旨味を引き出し付加価値化するほか、規格外野菜を委託加工で商品化



## 【取り組むに至った経緯】

- 4家族で米・野菜・山菜等を30ha(H22)特別栽培。
- 豪雪地帯で営農する中で、冬場の営農対策に取り組み、雪を資源として活用することや規格外品の活用等にいたった。

## 【生じた課題への対応方法】

- 大学関係者からの指導・助言
- 家族間の役割分担
- 県の普及担当者等からの助言

## 【取組の効果】

- 売上高 1.4倍に増加(H11→H21)
- 雇用数  
常勤7名、非常勤延べ350名(H11)  
→常勤10名、非常勤延べ450名(H21)

## 【取り組む際に生じた課題】

- 畑作物の連作障害
- 労働力の確保
- 付加価値化ノウハウの不足

## 【活用した支援施策(補助事業等)】

- 地域担い手経営基盤強化総合対策  
実験事業(地域雇用促進型)  
(H20 農林水産省)

## 【今後の展望】

- さらなる冬場の収入確保のため、多品目の展開、付加価値のある新規加工品の開発を進める。

## 成功のポイント！！

- 多様な人との関係構築による事業展開の広がり  
土壌改良や連作障害の改善、特色ある栽培方法など多様な人とのつながりを構築していくことで、ニンジンジュースの委託加工による加工品販売など、事業の広がりにつながった。
- 地域に存在する資源を活用した付加価値化  
豪雪地帯の立地を活かし「雪」を資源として活用した「雪室」を設置し、農産物の旨味を向上させて付加価値化と通年販売化につなげた。
- 役割分担と経営目標の共有  
4家族による大規模経営を進める中で、給与体系の整備・家計と経営の分離などの近代的な経営管理に取り組むとともに、それぞれの役割分担の明確化や経営目標の共有を図った。